

第44回「議員と語りかい」報告書

1班 (No. 1)

開催日	令和 6年 2月 6日 19時 00分 ~ 20時 30分		
開催場所	議会棟 3階 全員協議会室		
団体名	個人参加 (国分・隼人)	参加人員	6人 (男 4人 : 女 2人)
出席議員	徳田 修和、有村 隆志、藤田 直仁、松下 太葵、植山 太介、久木田 大和、宮田 竜二、下深迫 孝二		
役割分担	班 長 (徳田 修和) 副班長 (有村 隆志) 記録係 (藤田 直仁)		
テーマ及び具体的な内容	10年後の地域づくり、幸福度の高いまちへ		

意見交換での主な話題等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	◆高台にある眺望が売りの城山公園でありながら、現状は維持管理ができておらず樹木が生い茂り失望した。造られた当初の目的が果たされていないように思え、それができないのなら、処分も含め何らかの対応が必要ではないか。
	◇市としても限られた予算の中で指定管理者制度を活用しながら、公園をはじめ多くの施設を管理しているが、その点についてもしっかりと対処していく必要がある。
	◇他にも避難所としても活用される施設でも、その周辺に雑草が生い茂り、避難の障害になっていた例もあり、施設やその周辺の環境も確認する必要がある。
	◆演出効果を狙った設備については、開業当初は使用されても、何らかの理由で現在は使われずにそのままの状態になっているものも見受けられる。補助金を利用して造られたものかも知れないが、維持管理を含め先々の使用も十分に考慮した設備導入にするべきだ。
◆幾多の施設で維持管理に不十分さが見られ、建設当初の意義が形骸化されているように感じる。今後の計画には、本来の目的や機能、役割を満たし長期にわたり運営できるような仕組み作りを考えてほしい。	

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇予算の審査をするときにランニングコストや改築の予算も意識して見てはいるが、さらに注視していく必要性を感じた。

◆一部で問題になっている「年金脱退一時金」や「生活保護法」を悪用している外国人の方に対して、霧島市では何らかの対処をしているのか。されていないのであれば、対策を講じてほしい。

◆霧島市には、避難所の運営マニュアルがあるのか。国際基準である「スフィア基準」を用いたより質の高い避難所づくりに取り組んでほしい。

◇子ども食堂やフリースクールについて、貧困家庭の支援や地域のつながりなど教育の場に限らず、まずは子ども達が安心できる居場所づくりに対して、市がどのような支援ができるのかを考えていく上で、これらの施設が、単に教育施設や預かり所ではなく、「多様な学びの場の一つである」との認識が共有できる研修や市民への周知を図る機会をつくりながら、議員としてもその認識を高めて、政策提言につなげることが肝要である。また、この件については、引き続き文教厚生常任委員会を中心に陳情などの審査や所管事務調査を進めながら、さらに他の議員とも議論を深めていくことが重要である。

◆将来の子どもの成長につながる活動として、学生によるチャリティーライブを開催し、その売上は子ども食堂等へ寄付している。ただ運営に掛かる経費は自己負担で行っており、安定した継続が困難であるため、年1、2回程度の開催に留まっている。また、明治維新を成し遂げた薩摩の志士たちにも大きな影響を与え、薩摩藩の郷中教育の聖典とされている「いろは歌」のカルタを切り絵で制作し、県内の子ども達にこの教育の内容を伝承していきたいと取り組んでいるが、経済的な面で行き詰まっている。

◇対象者を考慮すると、鹿児島県の教育委員会に相談することもよいのではないか。

◆チャリティーライブについては、ファンドレイジングの活用や地域の文化祭や学園祭への参加も有効ではないか。

◇地域との連携という視点では、市立である国分中央高校の活用も可能性があるのではないか。

◆まずは活動の周知が重要であるので、あらゆる媒体を活用して情報発信を行うことが必要だ。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇地域で活動している商工会議所青年部や青年会議所との同時開催などが行えれば、資金調達ではないが経費削減や周知活動に繋がることになる。

意見交換での主な話題等